



「首都圏佐渡連合会・総会」開催

日差しに温もりが感じられる平成23年2月6日11時から、東京千代田区のホテルエドモントにおいて第11回首都圏佐渡連合会・総会が総勢170余名出席し開催された。

第一部総会は、摩尼義晴会長から今回赤泊会が加入したことなどを報告、続いて来賓の佐渡市副市長甲斐元也様、同市議会議長金光英晴様、東京新潟県人会長平辰様、佐渡高校同窓会長中川哲昌様から佐渡市の近況、佐渡高校の甲子園出場等を内容とする祝辞をいただいた。引き続き議事に入り、議案は全て原案のとおり満場一致で承認され、任期満了に伴う会長選任についても摩尼義晴氏が引き続き会長に就任することが満場一致で承認された。第二部記念講演は、学校法人杉野学園理事長中村賢二郎様(両津出身)から「世界遺産佐渡に向けて」と題し、世界遺産登録の諸条件、ユネスコ、文化庁の考え方など実務経験を踏まえての説明をいただいた。第三部懇親会は、本間慎副会長の開会挨拶、「朱鷺謡の会」の謡曲「鶴亀」の後、佐渡連合商工会長齋藤甲子郎様の乾杯の音頭で懇親に移る。アトラクションは歌手山田実氏の熱唱、郷土会の「おらが街コーナー」、若波会の佐渡民謡と続き、最後は恒例の佐渡おけさの輪踊りで締めた。宴たけなわとなった頃、佐渡総合高校東京同窓会長尾田喜作様による中締め発声の後、「来年も元気で会いましょう」の合言葉を最後に15時過ぎ散会した。

(文責 佐渡市東京事務所 元田利夫)



講演する中村理事長



挨拶する摩尼会長

佐渡市と長岡市は「集客プロモーションパートナー都市協定」を結び、集客に向けたPR活動をお互いに支援しています。

長岡おでかけ情報

ながおか食の陣 春 まちなか座

長岡に春一番が吹き荒れる！
長岡の美味しいものが大集合！



日時 3月27日(日) 午前11時～午後3時

会場 長岡市大手通り「歩行者天国」

内容 長岡の美味しいものが大集合!!

①ながおか食の陣名物

「天地人鍋」

②「秘伝! なご〜

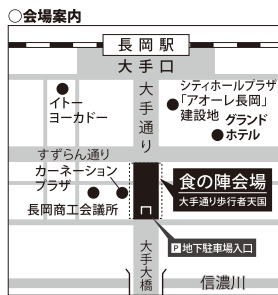
か丼」

長岡食材を使った簡単ドングリの秘密レシピ公開! 当日のお楽しみ!

③その他

食の陣当日限定メニューが目白押し!!

お問い合わせ ながおか食の陣 春 まちなか座実行委員会 (事務局: 復興支援ネットワーク・フェニックス) ☎0258-36-2537



2月23日、法律改正を前にして全国138の島々の組織「全国離島振興協議会」の理事会が東京で開催され、島に思いをはせる各党の国会議員の重鎮が集まっていた。国会で来年度予算の攻防そのまに激しい言葉で他党を追及する先生方も居りましたが、最後は離島へのエールで終わったのに安心しました。

さて離島関係の来年度予算でみるべきものは、「地域公共交通確保維持改善事業」で航路の赤字の補填が増額される予定です。また注目のガソリン価格については、本土との差額を埋めるために佐渡であれば、7円/Lの補助が出てスタンドの仕入れ価格は、理論上本土との価格差がなくなることになる予定です(島々の販売事情によって価格は異なります)。それだけに国会での予算承認が心配されるそうです。

その改正時期が近付いて平成25年度からは新しい改正離島振興法に変わります。来年度中にはそのあらましを決めなければなりません。この責任は重大です。全国の離島の仲間たちと今後10年、われわれの生活を左右する法律策定作業に参画し、監視を続けなければなりません。

昨年未だに国の平成23年度離島予算が決定されました。今まで離島の予算は離島住民の声が直接国に届くように、わかりやすく各県の予算から抜き出して集計され、一括して国に届けられるよう配慮がなされています。そのために島々は予算要望時期には団結して国に強い要望を伝えてきましたが、このところ政府が考える一括交付金の動きで離島予算にも費用対効果のメスが入り、急激に様子が変わろうとしています。また島々を守る離島振興法は、長い間、政権は変わっても、10年ごとにその改正時期には党派を超えた協力度島を守る方向に法律の改正が行われてきました。

離島の新年度予算

佐渡市長 高野宏一郎

